

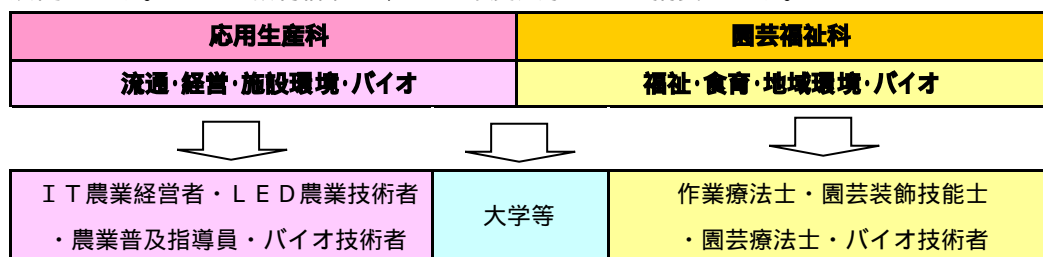
勝浦高校が生まれ変わります。 - 徳島県立小松島西校等学校勝浦校として -

いま徳島県では、少子化に伴う生徒数減少により高校再編が進められております。この教育改革の流れにより、勝浦高校は普通科を廃止し園芸を中心とする2学科に再編されるとともに、小松島西高校の勝浦校として生まれ変わります。

新しい学校の生徒募集は**平成21年度末に行われる入試よりスタート**し、平成22年度に新学科への入学生を受け入れることとなります。その後、順次に新しい生徒を迎えて**平成24年度当初**、全学年が揃った段階で在学したまま転校を行い、**小松島西高等学校生として卒業**することとなります。

	園芸科			普通科			応用生産科			園芸福祉科		
平成21年度	募集停止			募集停止			H22年度入試開始			H22年度入試開始		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	×	×	×	×	×	×
平成22年度	募集停止			募集停止			1期生入学			1期生入学		
	×	2年	3年	×	2年	3年	1年	×	×	1年	×	×
平成23年度	募集停止			募集停止			2期生入学			2期生入学		
	×	×	3年	×	×	3年	1年	2年	×	1年	2年	×
平成24年度 小松島西高校	募集停止			募集停止			3期生入学			3期生入学		
	×	×	×	×	×	×	1年	2年	3年	1年	2年	3年

さて、勝浦校では**応用生産科**と**園芸福祉科**という2つの学科ができます。いずれも現在の園芸科の教育課程を母体として、これからの農業界に求められる新しい能力や技術を習得するためのカリキュラムを展開します。この教育課程は、22年度入学生から摘要します。



まず、**応用生産科**では、基本的な園芸技術の習得に加えて、今後ますます必要になってくるITを駆使した農業経営や、減農薬・省エネルギーに効果のあるLEDを利用する取組み、そしてバイオ技術の習得を目指します。**流通・経営・施設環境・バイオ**のキーワードを根幹においた新しい農業教育の姿を実現します。次に、**園芸福祉科**では、農業の営みがもたらす大きな福祉効果を活用する能力や技術の習得を目指します。勝浦町が取り組んでいる福祉の町作りとも連携し、作業療法士や園芸療法士また園芸装飾技能士などの資格取得を目指し、**福祉・食育・地域環境・バイオ**のキーワードを具現化する新しい農業教育に挑戦します。

さらに、2つの学科の相互乗り入れを積極的に行い、大学等への進学希望者に対しても、柔軟な教育課程や個別指導により**一人ひとりの進路実現**を可能にします。

最後に、勝浦校の大きな特徴として、**地域との連携・学校間での連携**を全面的に展開することがあります。地元の勝浦町・上勝町と「いろいろ」などを通して**地域の教育資産を活用**します。そして、小松島西高校の食物科、福祉科などと連携してお互いの**学校の教育資産**を有効に活用します。